

- 1 教育事業名 「無人島アドベンチャーキャンプ2023」
- 2 ね ら い 無人島での集団生活を通して、参加した子供達の感性が磨かれ、仲間との協働を通して認め合い、自らと向き合うことで大きく成長することを期待し本事業を実施する。
- 3 期 日 令和5年7月24日(月)～7月30日(日) 6泊7日
- 4 場 所 国立沖縄青少年交流の家(キャンプ場、海洋研修場)
- 5 募集定員 小学校5年生～中学校3年生 24名(小学生12名中学生12名)
- 6 参加人数 24名
- 7 参加者内訳 中学生12名(各学年男女2名) 小学生12名(各学年男女3名)
- 8 実施プログラム

7月24日	小潮【満潮】10:26(163cm)／23:10(171cm)【干潮】4:34(79cm)／16:48(58cm)										
				オープニング	弁当	水慣れ 海遊び	テント 設営研修	火起こし 研修	野外炊事	班活動	就寝 準備
7月25日	小潮【満潮】11:21(154cm)／23:49(171cm)【干潮】5:24(78cm)17:29(74cm)										
	活動 起床 準備	野外炊事	海洋研修 スノーケル 大型カヌー	野外炊事	班活動			野外炊事	班活動	就寝 準備	
7月26日	小潮【満潮】12:37(145cm)【干潮】6:25(75cm)／18:19(90cm)										
	活動 起床 準備	野外炊事		野外炊事	阿波連園地での漁労活動			野外炊事	班活動	就寝 準備	
7月27日	長潮【満潮】0:37(171cm)／14:19(142cm)【干潮】7:39(71cm)／19:26(104cm)										
	活動 起床 準備	野外炊事	脱穀体験	野外炊事	縄編み体験 餅つき体験			野外炊事	班活動	就寝 準備	
7月28日	若潮【満潮】1:39(171cm)／16:05(148cm)【干潮】9:01(61cm)／20:52(113cm)										
	活動 起床 準備	野外炊事	班活動	野外炊事	渡嘉敷港での釣り体験			野外炊事	班活動	就寝 準備	
7月29日	中潮【満潮】2:53(175cm)／17:23(161cm)【干潮】10:20(46cm)／22:18(114cm)										
	活動 起床 準備	野外炊事	海洋研修 スノーケル	野外炊事	分かち合いの集い準備			分かち合いの集い		振り 返り	就寝 準備
7月30日	中潮【満潮】4:06(184cm)／18:19(176cm)【干潮】11:24(28cm)／23:27(107cm)										
	活動 起床 準備	朝食	片付・撤収	班 会 議	エン ディ ング	移動	フェリー	到着後流れ解散			

9 事業の様子



オープニング



野外炊事



ピパークテント設営



スノーケリング講習



徒歩で阿波連園地へ



阿波連園地にて漁労活動



脱穀体験



脱穀体験②



餅つき体験



渡嘉敷港での漁労活動



大型カヌーでアリガーへ



分かち合いの集い

11 参加者の声（アンケートより）

- ・楽しかった。大満足。また行きたい。
- ・意外と早く火を起こすことができた。
- ・ブルーシートのテントで雨をしのぐことができた。
- ・自分が虫好きということに気が付いた。
- ・一日でも良いから無人島に渡ってみたかった。
- ・普段の生活がとても楽なことに気が付いた。
- ・仲間がたくさんできた。
- ・無人島へ渡りたかったが安全を一番に考えて止める勇気を学んだ。

担当者所見

（1）成果

- ・天候不良のため、渡嘉敷島内でのキャンプとなったが、厳しい状況の中での様々な活動を通して、日々変化、成長する子ども達の様子を見ることができた。
- ・渡嘉敷島在住の方々を中心に多くのアイデアとサポートをいただき、天候に恵まれない中でも参加者に満足してもらえるプログラムを進行することができた。
- ・台風接近による海上時化のため当初の予定を短縮して7日間の開催となったが、共同生活を通して参加者同士、カウンセラーとの強いつながりが作られていった。

（2）課題

- ・活動中に参加者が頭部を負傷する場面があった。道具の管理や使用法の確認を徹底する必要がある。
- ・今回アシスタントカウンセラーのサポートに支えられる場面が多く見られた。班活動が中心となるため次年度は各班に配置したい。